

CURRICULUM 2025

2025年度カリキュラム

社会生活情報学専攻

科目の詳細検索(シラバス)はこちら ▶



赤=必修科目 黒=選択科目

■=高等学校教諭一種免許状(情報)資格取得に必要な科目

1年次				2年次				3年次				4年次						
専門教育科目	必修科目																	
	経営学入門 基礎経済学		社会生活情報基礎演習Ⅰ・Ⅱ				プログラミングの基礎■ プログラミング基礎演習■				社会情報学ゼミナールⅠ・Ⅱ				社会情報学ゼミナールⅢ・Ⅳ 卒業研究			
	選択科目																	
	経済学系	経済政策論		マクロ経済と金融				国際金融論				ネットワーク経済論						
				教育の経済学 グローバル経済				社会保障の経済学 企業の経済学		行動経済学 産業論		情報の経済学 日本経済論		経済史 女性労働論		労働経済学		
	経営学系	ケーススタディ経営学																
		会計学入門		マーケティング入門								地域経営論						
				経営戦略論 企業と社会				経営組織論 簿記		財務会計 管理会計		ファイナンス マーケティング・サイエンス		流通論 ブランド論		消費者行動論		
											消費者行動演習							
	社会学系	現代社会論		都市と文化														
	メディア学系			社会調査法														
				ジェンダーとコロナリズム グローバル化の社会学				量的調査演習 質的調査演習		情報行動論 情報文化史		移動とエスニシティ 都市論		社会学の理論と方法				
	生活系	マスメディア論		情報表現法■														
		メディア学基礎■		メディア社会論演習				広告論				オンラインデータ分析■						
	生活系	メディア史■		オルタナティブ・メディア論 コンテンツ産業論		メディア運用演習■ メディアと社会変容		多文化社会論 AI社会論										
発達心理学 感情とパーソナリティの心理学 病と健康の心理学		老いの心理学 社会心理学																
〈情報処理〉																		
		情報分析演習■				情報リテラシー演習■												
教職課程関連科目																		
						アルゴリズム論及び演習Ⅰ・Ⅱ■ 情報システム論及び実習Ⅰ・Ⅱ■												
						情報ネットワーク論及び実習Ⅰ・Ⅱ■												
留学認定科目																		
						異文化理解Ⅰ・Ⅱ												
学部共通科目	コンピュータの基礎■		基礎統計学 ソフトウェア概論■		社会情報概論■		コミュニケーション論 建築・不動産と社会											
	情報処理実習A・B■		基礎社会学 経営と社会 AI入門■		情報社会論■		情報倫理■		情報セキュリティ論		情報と法律■							
	基礎社会学																	

各科目の配当年次や必修科目等の区分は変更になることがあります。

おもな専門教育科目の紹介

企業はどのように消費者に
購買行動を起こさせようとしているのか

消費者行動論

担当教員: 桑島由美 履修年次: 2・3年

企業のマーケティング活動の主な目的は自社の顧客の満足を得るためであると考えられます。顧客満足を得るためには、顧客である消費者が何を考えて購買行動をしているのかについて理解することが必要です。本授業では、企業が消費者に対して取る戦略について理解することを目的にしています。

戦略的思考を身につけ
使いこなす能力を養う

情報の経済学

担当教員: 荒川 潔 履修年次: 2年

本授業では、相手にやる気を起こさせる(インセンティブ)、相手の行動を制限する(コミットメント)、自分の情報を効果的に伝達する(シグナリング)、相手の情報入手する(スクリーニング)などの戦略スキルを養い、情報と戦略に関する思考を身につけていきます。

社会生活情報学専攻

2025年度／おもな専門教育科目の紹介

資源、移民、資金移動などの
国際問題を解く

グローバル経済

担当教員：西川 輝 履修年次：2・3年

国際社会で労働力の活発な移動、貿易の自由化、活発な資本取引、技術移転、企業の国際的連携が進み、グローバル経済が誕生しつつある。この講義では、グローバル化が生じた歴史的背景、そのメリットと今後の課題などを、国際貿易・国際金融・経済開発といった切り口から論じます。

新規事業の創造や経営を
読み解く力を養う

経営戦略論

担当教員：山田幸三 履修年次：2・3年

全社戦略と事業戦略（競争戦略）の基本的な理論と概念、分析ツールを理解し、それらを用いて新規事業の創造やファミリービジネスの経営を読み解く力を養います。現実の企業活動と密接に関連するため、新聞、雑誌、インターネットで関連記事に目を通すのが大事です。

メディアを通して
日常生活と社会の関わりに気づく

メディアと社会変容

担当教員：杉山昂平 履修年次：1・2年

この授業では「趣味」の歴史に注目し、楽しみに関わる知識や情報がメディア（雑誌、テレビ、インターネット…）を通していかに伝達されてきたのかを辿ります。メディアというレンズを通すと、趣味という私的で日常的な営みも様々な社会動向と無縁ではないことが見えてきます。

コンテンツ産業を
批判的に考察する方法を学ぶ

コンテンツ産業論

担当教員：佐藤信吾 履修年次：2・3年

本講義では、20世紀から現代までの文化やコンテンツ産業を批判的に考察する方法を学んでいきます。コンテンツ産業を駆動させる原理や、その問題点を理論的に捉え、理解することで、私たちを取り巻く環境を分析し、自分の言葉で説明できるようにします。

「当たり前」を覆す
見方や考え方があること知る

ジェンダーとコロニアリズム

担当教員：池田 緑 履修年次：2・3年

私たちが性差と思っていることは、ほとんどが言語的・社会的に作られたものです。その過程を分析しながら、社会に存在する様々な権力関係を考えるきっかけとします。これまで「当たり前」と思っていたことも、それを覆す見方や考え方があることが知ることができます。

人々が集まり
新しい文化を生み出す

都市と文化

担当教員：笹島秀晃 履修年次：2・3年

秋葉原や池袋などのサブカルの聖地は日々、新しい文化を生み出しています。そのような創造的な空間はどのように形成されたのでしょうか。この講義ではアーティストと消費者との交流で生じる文化を、場所・空間やメディアの観点から学びます。